

# cue

京都大学電気関係教室技術情報誌

NO.12      DECEMBER 2003

---

[第12号]

.....  
卷頭言

.....  
名誉教授 板谷 良平

.....  
大学の研究・動向

.....  
電磁工学講座・電磁エネルギー工学分野

.....  
システム情報論講座・医用工学分野

.....  
産業界の技術動向

.....  
(株)NTTデータ 浜口 友一

.....  
研究室紹介

.....  
博士論文概要

.....  
学生の声

.....  
教室通信

**cue**：きっかけ、合図、手掛かり、という意味  
の他、研究の「究」（きわめる）を意味す  
る。さらに KUEE（Kyoto University  
Electrical Engineering）に通じる。

cueは京都大学電気教室百周年記念事業  
の一環として発行されています。

## 教室通信

### 電気系2専攻の桂キャンパスへの移転

本年8月25日から9月18日のほぼ一ヶ月をかけて、工学研究科電気工学専攻、電子工学専攻の両専攻の全研究室が、化学系6専攻に続いて桂キャンパスへの移転を完了しました。移転後の状況について簡単にご報告致します。

電気系2専攻の大型の物品は4月以来随時移転を済ませることができましたので、今回の移転期間は研究室の小型の備品などが中心となり、多い日には一日に4研究室が一挙に移転するというものでした。移転した研究室から順に研究を再開すべく実験装置、システムを立ち上げておりますが、大型の装置を必要とする研究はまだまだその調整に時間を費やしている状況です。この冊子がお手元に届いた時点ではおそらく、否が応でも研究はそれなりに遂行されているものと思います。

10月1日から桂キャンパスでの大学院の講義が始まりました。電気系の講義は講義室1（大）、講義室2（小）の二つの講義室を中心に開講され、このうち講義室2には本年度中に吉田の中講義室と遠隔講義を行う設備が整う予定です。既に3週間が経ち、どの講義も多少のトラブルはあったものの既に落ち着き、例年と同様の講義が行われています。吉田キャンパスと桂キャンパスの間には、講義、会議等への物理的移動のためシャトルバスが毎日数便運行されています。約50分の所要時間で移動ができ、工学研究科が二つのキャンパスに分断されている期間は、重要な生命線となっています。

去る10月18日には、大学として開講式典が挙行政され、内外にその全容が紹介されました。新聞等での記事を見られた方も多いと思います。11月には工学研究科としての式典が予定されています。桂キャンパス内には企業、個人の寄付による施設が建てられることも決まり、ますます充実した研究環境が整うことと思います。完成まであと数年掛りますが、完成の暁には日本を代表する研究拠点となることは間違いなく、それに向けて構成員が継続して努力して行くことが期待されています。

桂キャンパスではこれまでの教室事務室というのが廃止され、クラスタ事務室がクラスタ総ての専攻の事務をまとめて行うことになりました。現在は暫定的に各専攻を担当する事務官が居りますが、これも新年度には一切無くなり、Aクラスタ全体の事項に対応することとなります。一方、吉田には現在電気電子工学科事務室があります。主として学部教務とその関連事務の一切を、工学部の教務の下で学科長の指揮を頂き取り仕切ることとなっています。

キャンパスの施設の中では食事その他の厚生施設の建設が遅れたため、教官、学生は昼夜を生協の弁当に頼る日々が続いています。漸く10月の下旬に小さいもののAクラスタにレストランができましたが、新しい厚生施設が完備される日が待ち遠しく思われます。このような状況の中でも、夢を持って強い意志で研究を続ける教官、学生に対して、関係の方々からの一層のサポートをお願いしたいと思います。

(平成15年度電気工学専攻専攻長 引原 隆士)



桂キャンパス A1棟（電気系2専攻の研究棟）



桂講義室1 前ロビー

## 編集後記

桂新キャンパスが始動しました。電気工学専攻と電子工学専攻は既に桂キャンパスへの移転を終え、電気関係教室は新たな第一歩を踏み出しました。電気百周年記念事業の一環として創刊された「cue」も、今後は、吉田・桂・宇治の3拠点から社会への情報発信を進めて参ります。今後とも電気関係教室への一層のご支援をお願い申し上げます。 (T. M. 記)

発行日：平成15年12月

編集：電気電子広報委員会

吉田 進、引原 隆士、鈴木 実、  
芝内 孝禎、松尾 哲司、山田 啓文、  
朝香 卓也

京都大学工学部電気系教室内

E-mail: cue@kuee.kyoto-u.ac.jp

発行：電気電子広報委員会、  
洛友会京都大学電気百周年  
記念事業実行委員会

印刷・製本：株式会社 田中プリント